

<基本情報>

所在地：熊本県宇城市不知火町

(令和2年度未来につながる持続可能な農業推進コンクール生産局長賞受賞)

<農場概要>

- 延べ面積：約36ha (宇城市、氷川町、産山村、水俣市等)

主な栽培品目：有機JAS認証トマト、かぼちゃ、たまねぎ等の野菜類、柑橘類
(柑橘類の一部のみ特別栽培)



<有機農業に取り組むきっかけ>

- 「農業は自然を守る産業である」という信念のもと、有機栽培で自立できる農業を目指し、市内で有機農業に取り組んでいた澤村氏を中心に、2001年に柑橘農家4戸、野菜農家2戸の計6戸で設立。2003年に法人化。(2025年11月現在、11戸で構成)

<販売について>

- 販売先は、大半が生協及び量販店。また、少量ながら県内の直売所や自社オンラインショップでも販売。
- なお、販売先との商談にあたっては生産物の栄養分析結果(糖度、ビタミンC、硝酸イオン、抗酸化力)を活用し、十分な品質が確保されていることを説明。



<消費者への情報発信について>

- 年に1回、消費者等との交流を目的にほ場見学、農業体験ツアーを開催。生協と協力し、生産物に対するアンケートを実施し、消費者ニーズを把握。



<病害虫対策・除草対策・土づくり>

● 病害虫対策

腐敗するような資材は投入せず、虫害発生が少ない時期に栽培。ハウス内は加湿状態としない等の環境負荷をかけない栽培を行うことで病害虫を抑制。また、タケノコや山菜等から抽出した天然エキスを使用する。

● 雑草対策

通路や畝の上にカヤやわらを敷くことにより、雑草発生を抑制。

● 土づくり

土壌バランスを重視し、野草堆肥及びボカシ肥料を施用。野草堆肥は、2年程熟成。また、ボカシ肥料は米ぬかを中心に魚粉やカキ殻等加え、自社肥料製造施設で製造。土壌分析に加え、野草堆肥とボカシ肥料の成分分析も毎年実施することで、土の状態を常に把握するよう努めている。

<苦労したところ>

- 有機栽培を始めた頃は、販路拡大のため積極的に売り込んだがうまくいかなかった。その後の品質向上により自然と販路が拡大した。

<今後の課題>

- 有機農業の担い手育成。培った技術や農地の次世代への継承。



【お問合せ先】TEL. 0964-33-7240

ホームページ：<http://higoayuminokai.co.jp/>